

就職活動は どんなスケジュールでしたか

今年から就職活動のスケジュールが変わったので、最初に情報収集を行おうと思っていました。1学年上の先輩からも「早めに動いた方がいい」とアドバイスをいただき、5月ごろから就活サイトのセミナーに参加しました。夏のインターンシップは損保、生保のアクチュアリーインターン、あとはベンチャー企業の計3社に参加しました。第一志望はアクチュアリーだったので、本採用では損保・生保・信託銀行に絞ってエントリーしました。

志望業界と内定先は

得意な数学を活かせる仕事がしたいと、以前から漠然と考えていました。私は早々に大学院進学を決めたため学部時代は就職活動をしなかったのですが、就職活動を行っていた友人が「佐々木に向いていそうな仕事がある」と、アクチュアリーについて教えてくれたのです。色々と調べてみると、金融業界には他にも数学的な素養が役立つ専門職があることが分かりましたが、中でもアクチュアリーは商品開発や健全な資産運用ができているかをチェックする仕事。得意分野を活かして、社会に貢献できることに魅力を感じ、アクチュアリーに絞って就職活動を行いました。



アクチュアリーは、生命保険、損害保険、信託銀行で採用されています。色々と比較をしました。時代の変化に応じて新商品がいち早く生まれるため、幅広く活躍できそうだと感じました。新しいことに挑戦できる環境が私にとって魅力的だったのです。

その中で、最も人間味があると感じたのが三井住友海上火災

活動体験談 01 Case

最も支えになったのは、同じ目標に向かう仲間の存在

早稲田大学大学院 基幹理工学研究所 数学応用数理専攻 修士2年 佐々木 貴広

【就活データ】

- 就活開始：2014年5月
- 就活終了：2015年8月上旬
- 志望業界：金融(アクチュアリー)
- エントリー：15社
- 面接社数：10社
- 内定社数：1社
- 内定先：三井住友海上火災保険株式会社(アクチュアリー)

保険でした。人事担当者や先輩社員、内定者の方々などたくさんの人に会いましたが、学生に對しても真摯に、誠実に向き合ってください、「本当に良い会社だな」という印象でした。

理系ナビのサービスは いかがでしたか

アクチュアリー関連の情報やセミナーなどが最も充実しているのが、理系ナビでした。サイトや冊子で情報収集し、アクチュアリー資格試験の対策セミナーなどにも参加しました。アクチュアリー志望者はそれほど多くないため、理系ナビのセミナーに参加することで、自然と仲間ができたことも嬉しかったですね。特にスケジュールが昨年と異なり、予測ができない部分が多かったため、新しい情報を交換できたり、励まし合ったりできる仲間の存在は本当に大きかったです。

就職活動で大切だと 感じたことは

アクチュアリーはエントリーシート提出後に筆記試験があります。そこで高得点が取れることが前提となるため、筆記対策は重要ですね。面接対策やOB

訪問ばかりに力を入れてしまい、それ以前の関門である筆記試験で落ちてしまっただけもったいないですね。大学受験レベルの数学と、線形代数あたりをマスターすること、あとは筆記試験でトップになる意気込みで挑むことが大切だと思います。

これから就活に臨む方への アドバイスをお願いします

まずは学業との両立についてですが、就活スケジュールが後る倒しになったことにより、卒論や修論と重なることが考えられます。エントリーシートの提出時期も集中することが多いので、計画的にできるだけ前倒しで動いた方がいいと思います。また、同じ業界・職種を志望する仲間の存在は本当に大きいです。きっと社会人になった後も切磋琢磨できると思いますので、就活仲間は大事にしてください。そして最後に、就職活動は決して短い期間ではありませんから、時には息抜きも必要。友人と遊んだり、旅行に行ったり、自分の好きなことをする時間も大切にされた方が、途中で息切れせず乗り切れると思います。

**就職活動は
どんなスケジュールでしたか**

博士2年の4月頃、就職情報サイトに登録し、情報収集を始めました。インターンシップの説明会に参加するなど本格的に活動したのは6月からで、実際にサマーインターンシップに参加したのは外資系金融3〜4社、外資系コンサル4〜5社。金融業界については、視野を広げるつもりでセールス、トレーダーなど幅広い職種を検討し、8〜10月の2カ月間は知人の紹介で日系金融のインターンにも参加していました。コンサル業界は、サマーインターン終了後にオファーのお話をいただくケースが多く、12月中に内定した会社もありました。内定を受諾したアーサー・D・リトル(ADL)からは2月に内定をいただきました。コンサルの選考では、フェルミ推定、グループディスカッションが多いですが、論点を外さず一貫した意見を持ってディスカッションできるのが理系の強みと気付き、自信を持って臨めました。

志望業界と内定先は

最初は金融業界中心に活動していましたが、インターンの説明会で知り合った学生との情報交換を通じて、コンサルにも興味を持ち始めました。各社の説明会で社員の方たちの話を聞いていくうちに、自分が知的好奇心を持ち続けられるのはコンサルの仕事だと思うようになり、コンサル志望に変わっていきました。内定を頂いた会社の中でADLを選んだのは、インターン選考時から感じていた「社員の人柄の良さ」が決め手。学生である私の話を真剣に聞いてくれる姿勢、インターンで一緒に働いた社員の、クライアントに



【就活データ】

- 就活開始：2014年6月
- 就活終了：2015年2月
- 志望業界：コンサル、金融、IT
- エントリー：6社
- 面接社数：6社
- 内定社数：5社
- 内定先：アーサー・D・リトル・ジャパン株式会社

case

02

理系の就職

様々な大学や学部の就活仲間から刺激を受け、視野が広がった

東京大学大学院 理学系研究科 物理学専攻 博士課程3年 岡 アキラ

親身になって議論を尽くす姿勢に感銘しました。

**理系ナビのサービスは
いかがでしたか**

情報誌・サイトに載っている会社・職種についての情報や、就職活動のノウハウについての記事が参考になりました。また修士の頃、外資系金融の記事を読んで、こういう会社もあるのかと強く記憶に残ったことが、仕事選びのインプットになったかもしれません。

**就職活動で一番苦労したことは
なんですか**

研究に明け暮れる日々を送っていたので、就職という道を選択した時、「世間とのギャップ」を実感しました(笑)。研究室には就職情報は入ってこないのですが、情報誌やサイトの情報を読むほか、興味のあるワードやキーワードで検索して情報を集めるなど、すべて自分で探さないといけないことが一番大変でしたね。

**就職活動で大切に
感じたことは**

百聞は一見に如かず、に尽き

ます。紙面で書かれていることは一部ではないし、世間で人気の会社でも、自分の価値観には合わない場合があります。私は会社訪問するとき、できるだけ多くの情報を集めたいと思い、オフィスの周りを歩いて働く環境の雰囲気を感じたり、毎日の時間の過ごし方を想像したりしました。仕事とは関係ないようにも見えますが、何事も五感を使って自分自身で体験し判断することが大切だと思います。

**これから就活に臨む方へのアド
バイスをお願いします**

自分がコレだ!と心に決めたものを大事にしてほしいです。その一方で、柔軟性も大事。興味を広げる意味で説明会にまず行ってみてください。説明会で知り合った他大学、文系をはじめとした様々な学部の学生からたくさんの刺激と情報をもたらすことでも視野が広がっていきました。軸を持ちつつ興味を広げることが就活では大事だと思います。